

ヨーロッパの滑り抵抗値について

イタリアを初めヨーロッパの滑り抵抗値は、DIN規格（ドイツ規格協会＝Deutsches Institut für Normungヨーロッパで一般的な規格）で規定されており、この規格と日本のCSR値は試験方法が全く違うため相対表がございません。

DIN規格での滑り抵抗値の内容は、以下の通りです。

1. R値 規格番号＝DIN51130（ISO 10545-17）

試験体上を人が歩く状況で滑り出す角度によりR9～R12までクラス分けされています。

このR値は、カタログ、又は価格表に記入されております。R値が多い程、滑り難しくなります。

また、R値が記入されていない製品は屋内専用タイルです（例えば、表面の仕上げが本磨きの製品）。

また、ヨーロッパではR9以上を外部用タイルとして使用可能としておりますが、常に濡れた状態が続く梅雨が有る日本の場合は、屋外にはR10以上をお薦めします。

R 9	滑り出し角度	∠3°	～ 10°	一般的な床
R 1 0	滑り出し角度	∠10.1°	～ 19°	常に濡れる床も対象、洗面所も可能
R 1 1	滑り出し角度	∠19.1°	～ 27°	整備工場、バスルームの床、プールの床も可
R 1 2	滑り出し角度	∠27.1°	～ 35°	油の多い精肉工場、ワイン工場等

2. 規格番号＝DIN51097

濡れた素足で歩くエリアでの床タイルの滑り抵抗を評価する基準で、以下のクラス A, B, C の3カテゴリに分類されます。

CLASS A 臨界角度 ∠12° ～ ほぼ乾燥している場所

CLASS B 臨界角度 ∠18° ～ シャワールーム、プール周り、更衣室等

CLASS C 臨界角度 ∠24° ～ プール内階段、ジャグジー、プール周りの傾斜部等常に水濡れした状態の場所



株式会社アーケテック